

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

| ※受理番号 | 学 校 | 教 科 | 種 目 | 学 年 |
|----------------|----------------|---------------|-----|--------|
| 104 - 162 | 小学校 | 体育 | 保健 | 第3・4学年 |
| ※発行者の 番号・略称 | ※教科書の 記号・番号 | ※教科書名 | | |
| 224・学研 | 保健・311 | 新・みんなのほけん3・4年 | | |

1 編修の基本方針

生きる力、自ら学び、自ら考える力を育てる

▶積極的な健康観、ヘルスプロモーションを重視

一人一人の夢や希望をかなえる土台となるのが健康です。心も体も健康であるためには、一人一人の生活だけでなく、周りの人や、環境や社会も、健康によいものに変えていく必要があります。

▶予測困難な時代に求められる資質・能力の育成

児童が生活している「いま」と「これから」は、グローバル化の進展や絶え間ない技術革新、自然災害や世界規模で拡大する新たな感染症の発生など、予測困難な時代です。これからの時代の保健においては、助け合い、支え合って、すべての人が健康に生きていける社会をつくっていく資質・能力の育成が求められています。

▶ICTの活用と変化している学びに対応

また、学校教育におけるICT活用の進展とともに、「学び」も大きく変わってきています。児童一人一人の特性を生かしつつ、一緒に学ぶ仲間や地域の人などと豊かにコミュニケーションをとり、協働しながら、保健の見方・考え方を生かし、さまざまな意見や情報を組み合わせたりまとめたりして、よりよい学びを生み出していく。そのような学びが求められています。

このような背景と教育基本法に示された理念や教育の目標を踏まえ、主体的・対話的で深い学びの過程を通し、求められる資質・能力を育成できるよう、この教科書を編修しました。



この教科書の特徴

積極的な健康観、
ヘルスプロモーション
を重視して

- 1 自分や周りの人を大切に思い、
進んで健康になろうとする力がつく教科書



予測困難な時代に
求められる資質・能力
の育成を目指して

- 2 身近な生活と健康との関係に気づき、
実践に生かすことができるようになる教科書



ICTの活用と
変化している学び
に対応して

- 3 健康についての学びを、
自ら進めていくことができるようになる教科書



自分や周りの人を大切に思い、進んで健康になろうとする力がつく教科書

保健の学習の大切さや世界とのつながりを感じられる



▲表紙裏～p.1

p.2~4 ▶ 学習内容と生活との関係、道徳やSDGsとの関連を示しています。

Table of contents for pages 1-4, including sections like 'みんなとつながる', '健康に大切なこと', and '体の発育・発達'.

冒頭に健康と夢の関わりを明示し、保健学習への興味・関心を高めるようにしています。

続いて、身近なことを中心とした保健の学習や健康への実践が、周りの人や世界中の人の健康につながっていることを見渡せる工夫を施しました。

なぜ保健を学ぶのかを、いつでも確かめられるようになっています。

Summary page for the textbook, featuring icons and text boxes summarizing key concepts like '一人一人の学び' and '健康と夢'.

一人一人を大切に感じられる構成

本文や発問、資料などで、適切に個人差や多様性に触れ、自分自身を見つめたり、それぞれの違いを大切に思えたりできるように構成しています。

保健の学習を通して、成長していくことを楽しみに思えるようになることを願っています。

Lesson page (p.30) featuring a diagram of four children's growth curves and text explaining individual differences in development.

Lesson page (p.45) featuring text boxes about '体の変化' (body changes) and '新しい命' (new life), with illustrations of a fetus and a baby.

2 教育基本法との対照表

| 図書の構成・内容 | 特に意を用いた点や特色 | 該当箇所 |
|--|---|-----------------|
| <p>口絵 健康って、どんなこと？</p> | <ul style="list-style-type: none"> ●健康や安全に関する幅広い知識と教養を身に付け、健やかな身体を養う学習に取りかかりやすくするために、「健康って、どんなこと？」として児童への投げかけを示しています(第1号)。 ●健やかな身体を養うことができるように、運動やスポーツに親しむことの大切さを、豊富な写真で示しています(第1号)。 ●主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるように、健康のためには、みんなで助け合い、支え合うことが必要であることを示しています(第3号)。 ●個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うことができるように、一人一人が限らない能力とすてきな自分らしさを持っていることを示しています(第2号)。 | <p>表紙裏～ p.1</p> |
| <p>みんなとつながる みらいとつながる わたしたちの生活と健康</p> <p>この教科書の使い方と ほけんの学び方</p> | <ul style="list-style-type: none"> ●他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができるように、保健の学習がSDGsと深く関連していることを示しています(第5号)。 ●幅広い知識と教養を身に付けるために、保健学習の進め方や、保健の見方・考え方を働かせることを示しています(第1号)。 | <p>p.2～6</p> |
| <p>1章 健康な生活</p> | <ul style="list-style-type: none"> ●健やかな身体を養うことができるように、身近な生活における健康についての課題を随所に設定し、主体的・対話的に学習を進められるようにしています(第1号)。 ●職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うことができるように、随所に学校医などの専門家を登場させるとともに、学校でのさまざまな保健活動を取り上げています(第2号)。 | <p>p.7～26</p> |
| <p>2章 体の発育・発達</p> | <ul style="list-style-type: none"> ●個人の価値を尊重して、その能力を伸ばすことや、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずることができるように、体の発育・発達の学習を通して、かけがえのない自分に気づけるようにするとともに、多様性に気づき、個人差について学習できるようにしています(第2号、第3号)。 ●伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛する態度を養うことができるように、健康面で注目されている日本食や郷土料理について、家庭や地域で取り組みたい学習活動として取り上げています(第5号)。 | <p>p.27～46</p> |
| <p>しりょう 安全な生活のために</p> | <ul style="list-style-type: none"> ●生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うことができるように、命を守るために必要な安全や防災・防犯についての内容を充実させて取り上げています(第4号)。 | <p>p.47～48</p> |
| <p>学びがつながる みらいへつながる</p> | <ul style="list-style-type: none"> ●健康や安全に関する幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うことができるように、3・4年の2年間の学習を振り返るとともに、5・6年での学習の展望を持てるようにしています(第1号)。 | <p>p.49</p> |

3 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

多様性

- イラストや図は、男子・女子などの性、外国にルーツを持つ子供などの多様性を尊重し、**人数や役割、配色などが固定的なイメージでの表現とならないよう、配慮して作成しています。**

ユニバーサルデザイン

- すべての児童が読みやすいように、紙面全体を**ユニバーサルデザインに配慮して作成しています。**
- 学習課題や本文では、書体に「**UD デジタル教科書体**」を使用し、これまでよりも誰もが読みやすいように視認性を高めています。
- 特別支援教育に配慮し、レイアウトやデザイン、配色などについて、専門家による検証を行っています。**

情報教育

- 情報教育を重視し、**効果的な内容と適切な分量**になるよう、専門家の指導のもと編集・作成しています。
- ICTを活用した学習が進むことを踏まえ、**ICT機器やインターネットなどを使うときの安全**に配慮しています。

表記・表現、紙面上の工夫

- 本文の記述に当たっては、できるだけ平易に、理解しやすい表現となるよう努めています。
- 漢字は、**無用な交ぜ書きをせず**、4年生で学習する漢字までを使用し、当該学年以降に配当されている漢字のすべてにふりがなを付けています。また、**読みやすさ、理解しやすさに十分配慮しながら**、健康や体に関する用語は漢字を使用するようにしています。
- イラスト、写真の使用に当たっては、本文の記述との適切な関連はもとより、**内容・掲載点数ともに学習上の効果に十分配慮しています。**
- 大きな判型（A4判）**を採用し、詳しく豊富な内容と視覚的にゆったりとした紙面を両立しています。また、**書き込むことができるスペースを十分に確保しています。**

編修趣意書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

| | | | | |
|------------------|----------------|---------------|----------|--------------|
| ※受理番号 104-162 | 学校 小学校 | 教科 体育 | 種目 保健 | 学年 第3・4学年 |
| ※発行者の 番号・略称 | ※教科書の 記号・番号 | ※教科書名 | | |
| 224・学研 | 保健・311 | 新・みんなのほけん3・4年 | | |

1 編修上特に意を用いた点や特色

1. 児童が主役の学びを生み出す構成

▶「主体的・対話的で深い学び」を実現する構成になっています。

学習指導要領で求められている「主体的・対話的で深い学び」を保健の学習で実現するために、各時間を見開き2つ（4ページ）で構成し、1時間の授業の流れがわかりやすい紙面にしました。

学習の進め方

1時間の学習の進め方（3つのピース）を確認します。

授業の導入

楽しみながら、学習の課題に気づくことができます。

学習の課題

学習の課題を確認し、学習の見通しを持つことができます。



▲ p.8～9

▶ ★すべての時間において、3つのピースを完成させる学習の流れです。

1 比べたり、確かめたり、調べたりするなどして、課題の解決に取り組みます。

※自分で取り組む課題が中心です。

2 話し合ったり、説明したりして、課題の解決に取り組みます。

※友達やクラスの人々と関わって取り組む課題が中心です。

3 この1時間で学習したことを活用して、課題を解決します。



▼ p.10～11

自らが学ぶ姿が見える

児童一人一人が興味・関心に応じて、学習に取り組むことができるようにしています。また、児童がさまざまに関わり合いながら、よりよい学びを生み出すことができるような問いかけや活動を設けています。

▼ p.10

2 生活と健康について次のようなけいけんをしたことはありませんか。出し合ったけいけんをもとに、健康には何が関係しているか話し合ってみましょう。

●生活と健康の例

ぐっすりねむれた日は、集中して勉強できたよ。

朝食をしっかり食べた日は、運動する気や、やる気が出たね。

せまい部屋にたくさんの友達といたとき、具合が悪くなったな。

体がたくさん動かして遊んだ後は、ご飯がおいしく食べられたよ。

便が出ないとおなかがいたくなったよ。

話し合ったことを書こう。

担任の先生は、進行役（ファシリテーター）となり、児童の学習を導いてくれます。

p.29 ▶



保健室の先生（養護教諭）や栄養の先生（栄養教諭）をはじめとする専門家が、保健に関するさまざまな知識をサポートしてくれます。

▼ p.21 養護教諭

学校の先生がサポートしてくれます。

部屋が明るすぎたり暗すぎたりすると、目がつかれやすくなります。目のつかれは、しりよく下がることにもつながります。

部屋のまどや戸をしめ切ったままにしておくと、人はく息や、目に見えない小さなちり、細菌などがたまりやすくなります。そのため、具合が悪くなることもあります。

食事では、栄養のバランスがとれるように、いろいろな種類の食品を食べることが大切です。また、朝・昼・夕の3食をきそく正しくきちんと食べましょう。

▲ p.22 学校薬剤師

▼ p.42 栄養教諭

2. 思考力・判断力・表現力が身に付く構成

▶ これからの予測困難な時代に対応できる力が身に付く構成になっています。

学習指導要領で重視されている「思考力・判断力・表現力」が育まれるように、学習活動を工夫しました。

3つのピースを完成させる学習の流れで、思考力・判断力・表現力を身に付ける

すべての時間において、1ページ単位の3つのピースを完成させる形式で構成しています。

「①自分で考える」→「②友達やみんなと考える」→「③身に付けたことを生かす」

という決まった学習の流れを繰り返すことで、着実に力を身に付けることができます。

①自分で考える

身近な生活にある課題などについて、自分で振り返ったり調べたりして進めていきます。

4 身の回りのかんきょう

1 次のようなとき、どのように感じるでしょうか。予想してみましょう。

寒い部屋で本を読んでいます。 しめ切った部屋でストーブをつけています。

このままだと... なんだかみんな元気な感じがなさそう...

このまま続くとなら、心配したことを書こう。 しめ切った部屋でストーブつけたままだと...

④教室で試してみよう

教室の明かりを通して、カーテンをしめると... 教室の明かりを消したまま、カーテンを巻くと...

教科書が読みづらくな。 まどが開くと、まじいなあ。

部屋が明るすぎたり暗すぎたりすると、目がつかれやすくなります。目のつかれは、しりよく下がることにもつながります。

健康のために、どのようにかんきょうを整えるのでしょうか。

▲ p.21

②友達やみんなと考える

自分で考えたことをもとに、友達やみんなと話し合ったり、説明したりして進めていきます。

4 身の回りのかんきょう

2 まどや戸を開けると、部屋の中の空気はどうなるでしょうか。また、次の実験の結果をもとに、なぜ健康のために空気の入れかえをするのか、話し合ってみましょう。

●まどや戸を開けるとどうなるか 私れの部屋で、録音していました。

しめ切っているとき 部屋のまどや戸を開けたとき

けむりは、奥側を流れると、様子が変わったよ。

話し合ったことを書こう。

部屋の明るさの調節や、空気の入れかえなどをして、身の回りのかんきょうを整えることは、毎日を健康で気持ちよく過ごすことにつながります。

●教室の空気の流れ（ヒント）

しめ切った状態で、空気がどのくらいこもっているか、ためました（中学校での例）。

●部屋のまどや戸をしめ切ったままにしておくと、人のく息や、目に見えない小さなちり、細菌などがたまりやすくなります。そのため、具合が悪くなることもあります。

●部屋のまどや戸をしめ切ったままにしておくと、人はく息や、目に見えない小さなちり、細菌などがたまりやすくなります。そのため、具合が悪くなることもあります。

▲ p.22

③身に付けたことを生かす

身近な生活にある課題などに対して、①、②で学んだことを活用して解決していきます。

4 身の回りのかんきょう

3 次の二つの場面において、よくないところを見つけて、身の回りのかんきょうを整える方法を挙げてみましょう。

④教室で試してみよう

季節の変わり目について自分で工夫したことや、もっと学習したいこと、なるほどと思ったことを書いておきましょう。

シートに書くこと

身の回りのかんきょうを整える

フロレンス・ナイチンゲール（1820年～1910年）は、病気やけがをした患者さんの健康のために、外の光や空気を取り入れることなど、病室の環境から考えよう提案する大膽な考えを打ち出されました。ナイチンゲールの考えは、今でも患者さんの健康のために生かされています。

▲ p.23

◎ 「書くこと、書けること」を重視し、紙とデジタルどちらの教科書でも活用しやすくなるように作成しました。思考・判断・表現したことを書き残すことができるよう、記入するスペースを十分に確保しています。用紙は、書き込みやすい紙を使用しています。

3. 保健の学習が身近に、楽しい！ おもしろい！ と思える構成

▶何気なく過ごしている日常の中で、さまざまな学びがあることを気づける構成になっています。

学びへの意欲が高まる資料を充実させました。現代的な健康課題も掲載しています。

「かがくの目」

興味・関心を高め、科学的な理解に結び付けられるよう、「見えないものを見える化」した資料を掲載しています。

▼ p.22

かがくの目

●まどや戸を開けるとどうなるか もけいの部屋で、線香をたいてみました。

しめ切っているとき → 両側のまどや戸を開けたとき

けむりは、両側を開けると、様子が変わったよね。

動画を見る

「ほけんのはこ」

各時間の最後に、1時間で学習した内容に関する資料を用意し、より学びを広げたり、深めたりすることができるようにしています。

▼ p.19

ほけんのはこ

手のあらい方

正しくあらうと、1分間くらいかかるんだね。

きちんとあらえているか、たしかめてみたい。

正しい手のあらい方を身に付けよう。

- ①せっけんをあわだてる。
- ②手を組むようにして指の間もあらう。
- ③指先とつめを手のひらでつまみあらう。
- ④手首をしぼるように回しながらあらう。
- ⑤水でよくあらい流す。
- ⑥濡れたハンカチで手をふく。

かがくの目

●きちんとあらえているかな 特別なクリームとライトを使って、あらい残しが見えるようにしています。

手をあらう前 → 正しくないあらい方であらったとき → 正しいあらい方であらったとき

白く見えるところがあらい残しています。

現代的な健康課題を豊富に掲載

体の発育・発達では、思春期に起こる心や体の変化について、個人差があることを尊重した記述としています。

身長は、小学校高学年から高校生のころに大きく伸びます。また、身長が伸びるときは、骨や筋肉などが発育するので、体重もふえていきます。身長の伸び方など、体の発育のしかたには、個人差があります。

▲ p.30

インタビュー 体の変化は、いつ起こりましたか？

きよみさんのお母さん: わたしは、4年生くらいから、急に身長が伸び始めて、丸みのある体つきになってきたの。

しょうたさんのお父さん: わたしは、6年生のときに、ひびが生えているのが付いて、おどろいたことを覚えています。

たんにんの先生: わたしは、気が付いたら声が高くなっていて、いつ変わったのか、わからなかったよ。

ほけん室(健こ)の先生: わたしは、中学生になったころ、母に「大人っぽくなったね」と言われたのを覚えています。

体の変化、一人一人が違う

45ページ

▼ p.34

性についての心の多様性

「女子」「男子」といった体の性や、「自分は女の子」「自分は男の子」といった心の性が同じではない人もいます。また、自分と違う性の人や性別の人にも、同じ性の人と仲よくしたいという気持ちがある人もいます。このように、性についての心は、とても多様です。もし、自分の性のこと不安や生きづらさを感じたり、ほかの人とちがいが気になったりするときは、ほけん室(健こ)の先生などに相談しましょう。

身近な人に相談しにくい場合などは、相談できる場所があります。

相談窓口の例

- 24時間対応 SOSダイヤル 0120-0-78310
- よりそいホットライン 0120-279-338 (中学生、高校生、保護者からは、0120-279-226)

※お名前や連絡先をウェブサイトなどで、相談まどこの通り公開することはありません。

36-39ページ

▼ p.45

ICT 機器などを使うときの健康や安全についても、保健ならではの視点で取り上げています。

p.6 ▶

目の健康を守るために

タブレットは、正しい使い方をしましょう。

せなかをのばす

遠くをのぞく

30分に1回は、目を休める

目を近づけすぎない

姿勢をよくなる

ゆかに両足をのける

●インターネットを使うときは……

インターネットにあるたくさんのおもしろい情報は、事実とちがうものもあります。インターネットを使うときは、次のように調べましょう。

○さまざまなウェブサイトでくらべる。

○本や新聞などのしよほうとくらべる。

◀ p.48

安全な生活のために②

●スマートフォンやインターネットを使うときの安全

1日1時間まで、1回30分までなどと決める。

時間決めて使う。

せいかも不足になり、体調をくずしたり、いらいらしたりする。

せいかもや明るいさに注意する。

名前や連絡先などの個人じょうほうを知られてしまうことがある。

きつい言葉を書いたり、人をきずつけてしまったりする。

けがをしてしまったら、きついたりする。

けがをしてしまったら、きついたりする。

けがをしてしまったら、きついたりする。

ICT 活用への対応

ICT 機器を活用した学習に対応した工夫をしています。

▼ p.29

わたしの身長伸びはどうか。パソコンを使って、グラフを作ってみようかな。

グラフを作る

「つなぐ」

運動領域のつながりをはじめ、前後の学年や他教科の学習内容とのつながりを大切にし、随所に関連を示した「つなぐ」を掲載しています。

p.29 ▶

つなぐ

生活の学習では、自分のことを知る活動に取り組みました。

p.33 ▶

つなぐ

4年の理科で、人の体のつくりについて学習します。

◀ p.41

つなぐ 体育とつなげる

体育で楽しかった運動を、外遊びでもやってみよう。

教科書の特色一覧

| | |
|-------------------|--|
| <p>教育基本法との関連</p> | <ul style="list-style-type: none"> ●教育基本法第二条に示された目標を達成するために、教科書の内容を適切に編成しています。 |
| <p>学習指導要領との関連</p> | <ul style="list-style-type: none"> ● 内容 学習指導要領に示されている方針、目標、内容、内容の取扱いに基づき、適切に内容を取り上げています。 ● 系統性 随所に関連を示す「つなぐ」を設け、保健について系統的に学習ができるように配慮しています。 ● 運動領域との関連 口絵や「つなぐ 体育とつなげる」などにより、運動領域との関連を図り、体育科の目標である健康の保持増進と体力の向上につながるようにしています。 ● 他教科との関連 「つなぐ」により、カリキュラム・マネジメントを実現しやすくなるよう、他教科との関連を示しています。 ● 指導内容の明確化 各章のとびらで、学習内容の全体像を示しています。また、各時間の最初のページに「学習の課題」を設け、その時間で学習する課題を明示しています。 ● 実践的な理解 生活や経験を振り返ったり、実験など実践的な学習を随所に取り入れたりして、健康・安全についての基礎的・基本的な内容を実践的に理解することができるようにしています。 ● 課題解決 各時間で学習課題を明示し、①→②→③の構成で、保健の見方・考え方を働かせながら、課題解決に向けて思考・判断するとともに、他者に伝える（表現）力を養うことができるようにしています。 ● 主体的な学習 各時間のはじめに「学習の進め方」を掲載し、見通しを持って学習できるようにしています。 ● 主体的な学習 すべての時間を「楽しく取り組める簡単な課題（授業の導入）→学習課題の確認→①→②→③」と順序立てて進めていく構成にし、学習の流れをわかりやすくしています。 ● 評価との関連 各時間の最後に、自己評価欄を設定しています。自己評価欄は、授業支援システムなどでも活用できるように、二次元コードからアクセスできる「ふり返しシート」を用意しています。 ● 主体的な学習、協働 「話し合ってみましょう」などと課題文で明示し、主体的・対話的かつ協働的に活動する学習活動が生まれやすくなるようにしています。 ● 食育との関連 3年「1日の生活のしかた」や4年「よりよい発育・発達のために」で、食事の重要性を学習するとともに、二次元コードを活用して栄養のバランスを考える資料を取り上げるなど、食育に関連した内容を取り上げています。 ● 道徳との関連 自分自身に関すること、人との関わりに関することなど、道徳の内容について保健学習全体を通して関連を図ることができるようにしています。また、各章のとびらでは「つなぐ」で道徳科の各内容項目との関連を明示し、関連を図りやすくしています。 ● 情報教育 情報教育を重視し、効果的な内容と適切な分量となるよう、専門家の指導のもと編修・作成しています。 ● 言語活動 話し合う、表現する、記述するなどの言語活動を随所に設けています。 ● 家庭・地域との連携 「おうちで」「ちいきで」により、学習したことと家庭・地域との連携に配慮しています。 ● 選択学習 「もっと！ 知りたい・調べたい」で、児童が興味・関心に沿って選択的に学習できるようにしています。 ● キャリア教育 各章のとびらに「仕事」として学習内容に関連する職業名を取り上げるほか、「みんなの健康を守るための活動調べ」や、専門家（キャラクター）が登場するなど、随所にキャリアについて考えられるようにしています。 |
| <p>創意・工夫</p> | <ul style="list-style-type: none"> ●各時間の導入に、生活を振り返る、チェックする活動を設けたり、児童や教師などのキャラクターが語りかける形式を用いたりするなどして、児童が親しみを持って主体的に学習に取り組むことができるようにしています。 ●「学習の進め方」と①、②、③の学習課題とは、全学年でデザインや配色を統一し、学習に円滑に取り組めるように配慮しています。 ●構成や活動内容、関連ページなど、わかりやすいマークを用いて、児童が主体的に学習に取り組むことができるようにしています。 ●「かがくの目」を随所に設け、科学的な認識を持てるようにしています。また、生活・行動の根拠が、単なる“しつけ”ではなく、科学的に認識できるように、論理的文章と科学的な資料で構成しています。 |

| | |
|------------------------------|--|
| 現代的な課題への対応、多様性 | <ul style="list-style-type: none"> ●教科書の冒頭3ページを充て、保健の学習がSDGsと関係していることを示しています。 ●イラストや図は、男子・女子などの性、外国にルーツをもつ子供などの多様性を尊重し、人数や役割、配色などが固定的なイメージでの表現とならないよう、配慮して作成しています。 ●運動、食事、休養・睡眠はもとより、タブレット端末の使用、思春期に起こる体や心の変化など、児童の日常生活と密接に関連した問題や現代的な課題を積極的に取り上げています。 ●ICT機器やインターネットなどを使うときの健康や安全について、保健ならではの視点で取り上げています。 ●防犯、防災を重視し、学習内容と適切に関連させて2ページ設けています。 |
| 配列・分量、程度・資料 | <ul style="list-style-type: none"> ●各学年ともに、学習指導要領で示された配当授業時数内で指導ができるように構成しています。 ●1単位時間見開き2つ(4ページ)を基本構成とし、「学習の進め方」を最初に明示するなど、見通しを持って学習できるように配慮しています。 ●児童の心身の発育・発達段階に適応し、身近な問題・自らの問題として取り組むことができるようにしています。 ●資料は最新で信頼性のある適切なものを取り上げ、見やすく、活用しやすいように工夫しています。 |
| 特別支援教育・ユニバーサルデザインへの配慮 | <ul style="list-style-type: none"> ●学習課題や本文では、書体に「UDデジタル教科書体」を使用し、誰もが読みやすいように、視認性を高めています。 ●書体や色、表現・配列について、誰もが見やすく、わかりやすい内容となるように配慮しています。また、特別支援教育に配慮し、専門家による検証を行っています。 ●「障害のある児童及び生徒のための教科用特定図書等の普及の促進等に関する法律(通称：教科書バリアフリー法)」の趣旨に基づいて、拡大教科書を発行します。 |
| 表記・表現、印刷・製本、環境への配慮 | <ul style="list-style-type: none"> ●本文などで使用している書体や文字の大きさは、児童の発達段階を考慮して選定しています。 ●製本はあじろ綴じて、特殊加工を施しており、2年間の使用に耐えられるように堅牢に仕上げています。 ●軽量で丈夫な紙を使用し、児童の負担にならない重さとなるようにしています。 ●環境に配慮して作成された用紙、植物油インキを使用し、環境への負荷が小さい方式で印刷しています。 |

2 対照表

| 図書の構成・内容 | | 学習指導要領の内容 | 該当箇所 | 配当時数 |
|----------|------------------|-----------------------|--------------------------|-----------|
| 3年 | 1 健康な生活 | 保健領域 内容の取扱い(5)~(8) | p. 7~26 | 小計4時間 |
| | 1 かけがえのない健康 | | (1)ア (ア)、イ p. 8~11 | 1 |
| | 2 1日の生活のしかた | | (1)ア (イ)、イ p.12~15、24 | 1 |
| | 3 体の清けつ | | (1)ア (イ)、イ p.16~19 | 1 |
| | 4 身の回りのかんきょう | | (1)ア (ウ)、イ p.20~23、24~25 | 1 |
| 4年 | 2 体の発育・発達 | | p.27~46 | 小計4時間 |
| | 1 変化してきたわたしの体 | (2)ア (ア)、イ p.28~31、44 | 1 | |
| | 2 大人に近づく体 | (2)ア (イ)、イ p.32~35、45 | 1 | |
| | 3 体の中で起こる変化 | (2)ア (イ)、イ p.36~39、45 | 1 | |
| | 4 よりよい発育・発達のために | (2)ア (ウ)、イ p.40~43 | 1 | |
| | | | | 3・4年 計8時間 |

編 修 趣 意 書

(発展的な学習内容の記述)

| | | | | |
|----------------|----------------|---------------|-----|--------|
| ※受理番号 | 学 校 | 教 科 | 種 目 | 学 年 |
| 104 - 162 | 小学校 | 体育 | 保健 | 第3・4学年 |
| ※発行者の 番号・略称 | ※教科書の 記号・番号 | ※教科書名 | | |
| 224・学研 | 保健・311 | 新・みんなのほけん3・4年 | | |

| ページ | 記 述 | 類型 | 関連する学習指導要領の内容や内容の取扱いに示す事項 | ページ数 |
|-----|----------------|----|--|------|
| 22 | 教室の空気のごれ | 1 | (1) 健康な生活 (1) ア 健康な生活について理解すること。 (ウ) 毎日を健康に過ごすには、明るさの調節、換気などの生活環境を整えることなどが必要であること。 | 0.25 |
| 23 | 身の回りのかんきょうを整える | 2 | (1) 健康な生活 (1) ア 健康な生活について理解すること。 (ウ) 毎日を健康に過ごすには、明るさの調節、換気などの生活環境を整えることなどが必要であること。 | 0.5 |
| 24 | 1日の体温のリズム | 2 | (1) 健康な生活 (1) ア 健康な生活について理解すること。 (イ) 毎日を健康に過ごすには、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を続けること、また、体の清潔を保つことなどが必要であること。 | 0.5 |
| 24 | タブレットを使うときには | 1 | (1) 健康な生活 (1) ア 健康な生活について理解すること。 (ウ) 毎日を健康に過ごすには、明るさの調節、換気などの生活環境を整えることなどが必要であること。 | 0.75 |
| 31 | 体の発育－骨と歯－ | 2 | (2) 体の発育・発達 (2) ア 体の発育・発達について理解すること。 (ア) 体は、年齢に伴って変化すること。また、体の発育・発達には、個人差があること。 | 0.75 |
| 43 | なぜ、すいみんは大切な？ | 1 | (2) 体の発育・発達 (2) ア 体の発育・発達について理解すること。 (ウ) 体をよりよく発育・発達させるには、適切な運動、食事、休養及び睡眠が必要であること。 | 0.5 |

| ページ | 記 述 | 類型 | 関連する学習指導要領の内容や内容の取扱いに示す事項 | ページ数 |
|-----|-------------|----|--|------|
| 45 | 新しい命 | 1 | (2) 体の発育・発達 (2) ア 体の発育・発達について理解すること。 (イ) 体は、思春期になると次第に大人の体に近づき、体つきが変わったり、初経、精通などが起こったりすること。また、異性への関心が芽生えること。 | 0.5 |
| 45 | 性についての心の多様性 | 2 | (2) 体の発育・発達 (2) ア 体の発育・発達について理解すること。 (イ) 体は、思春期になると次第に大人の体に近づき、体つきが変わったり、初経、精通などが起こったりすること。また、異性への関心が芽生えること。 | 0.5 |
| 47 | 安全な生活のために① | 1 | (2) 体の発育・発達 (2) ア 体の発育・発達について理解すること。 (ウ) 体をよりよく発育・発達させるには、適切な運動、食事、休養及び睡眠が必要であること。 | 1.0 |
| 48 | 安全な生活のために② | 1 | (2) 体の発育・発達 (2) ア 体の発育・発達について理解すること。 (ウ) 体をよりよく発育・発達させるには、適切な運動、食事、休養及び睡眠が必要であること。 | 1.0 |
| 合 計 | | | | 6.25 |

(「類型」の分類について)

- 1…学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容（隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む）とされている内容
2…学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容